

経 歴 書

(2024年3月3日現在)

おの ありと
氏 名 小野 有人
性 別 男
生年月日 1968年3月14日生
勤 務 先 〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1
中央大学 商学部
TEL: 042-674-3595
E-mail: a-ono "at" tamacc.chuo-u.ac.jp ("at"を@に変えてください)
<https://valley68.com/>
https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003023_ja.html

学 歴

1986年3月 東京都私立巣鴨高等学校 卒業
1987年4月 東京大学文科Ⅱ類 入学
1991年3月 東京大学経済学部経済学科 卒業
1997年9月 米国ブラウン大学大学院経済学研究科博士課程 入学
2001年5月 米国ブラウン大学大学院経済学研究科 博士号 (Ph. D.) 取得

職 歴

1991年4月 富士総合研究所入社 経済調査部配属
2002年10月 会社分割に伴いみずほ総合研究所に移籍、政策調査部 主任研究員
2009年10月 日本銀行金融研究所 シニア・エコノミスト
2011年4月 みずほ総合研究所政策調査部 主席研究員
2015年4月 中央大学商学部 教授、現在に至る
(サバティカル) 2022年3月～2023年3月 Visiting Professor, Darla Moore School of Business, University of South Carolina
(サバティカル) 2023年3月～2024年3月 Visiting Scholar, School of Management, University of St Andrews

教 育 歴

一橋大学商学部「金融フロンティア論」非常勤講師 (2006～08年度前期)、客員教授 (09年度前期)
群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部「国際金融の仕組み」非常勤講師 (2007～09年度前期)
埼玉大学経済学部「金融論特講」非常勤講師 (2008～09年度前期)
早稲田大学経済学研究科「アメリカ経済論」非常勤講師 (2014年度後期)

研究業績

(2024年3月3日現在)

I. 研究分野

銀行論、企業金融

II. 研究活動等

A. 研究業績

(a) 著書・編著

Haneda, Shoko, and Arito Ono, *R&D Management Practices and Innovation: Evidence from a Firm Survey*, Springer Briefs in Economics, Tokyo: Springer, 2022.

Watanabe, Tsutomu, Ichiro Uesugi, and Arito Ono (Eds.), *The Economics of Interfirm Networks, Advances in Japanese Business and Economics Vol. 4*, Tokyo: Springer, 2015.

Uchida, Hirofumi, Arito Ono, Souichirou Kozuka, Makoto Hazama, and Ichiro Uesugi, *Interfirm Relationships and Trade Credit in Japan: Evidence from Micro-Data*, Springer Briefs in Economics, Tokyo: Springer, 2015.

小野有人、『新時代の中小企業金融：貸出手法の再構築に向けて』、東洋経済新報社、2007年6月。

(b) 論文

査読付論文

Ono, Arito, Yukiko Saito, Koji Sakai, and Ichiro Uesugi, “Does Geographical Proximity Matter in Small Business Lending? Evidence from Changes in Main Bank Relationships,” *Asia-Pacific Journal of Financial Studies* 52(5), 819–855, October 2023.

Haneda, Shoko, and Arito Ono, “Corporate culture and product innovation: evidence from a firm survey,” *Applied Economics Letters*, accepted, June 2023.

郡司大志・小野有人・鎮目雅人・内田浩史・安田行宏、「日本の銀行における流動性創出指標」、『日本経済研究』accepted、2023年3月。

Honda, Tomohito, Kaoru Hosono, Daisuke Miyakawa, Arito Ono, and Ichiro Uesugi, “Determinants and Effects of the Use of COVID-19 Business Support Programs in Japan,” *Journal of the Japanese and International Economies* 67, 101239, March 2023.

植杉威一郎・小野有人・本田朋史・荒木祥太・内田浩史・小野塚祐紀・川口大司・鶴田大輔・深沼光・細野薫・宮川大介・安田行宏・家森信善、「コロナショックへの企業の対応と政策支援措置：サーベイ調査に基づく分析」、『経済研究』Vol. 73, No. 2, pp. 133–159、2022年4月。

Iwaisako, Tokuo, Arito Ono, Amane Saito, and Hidenobu Tokuda, “Disentangling the effect of home ownership on household stockholdings: Evidence from Japanese micro data,” *Real Estate*

Economics 50(1), 268–295, Spring 2022.

- Ono, Arito, Hirofumi Uchida, Gregory Udell, and Iichiro Uesugi, “Lending Pro-Cyclicality and Macro-Prudential Policy: Evidence from Japanese LTV Ratios,” *Journal of Financial Stability* 53, 100819, March 2021.
- Hosono, Kaoru, Daisuke Miyakawa, Taisuke Uchino, Makoto Hazama, Arito Ono, Hirofumi Uchida, and Iichiro Uesugi, “Natural Disasters, Damage to Banks, and Firm Investment,” *International Economic Review* 57(4), pp. 1335–1370, November 2016.
- Uchida, Hirofumi, Daisuke Miyakawa, Kaoru Hosono, Arito Ono, Taisuke Uchino, and Iichiro Uesugi, “Financial Shocks, Bankruptcy, and Natural Selection,” *Japan and the World Economy* 36, pp. 123–135, November 2015.
- 祝迫得夫・小野有人・齋藤周・徳田秀信、「日本の家計のポートフォリオ選択：居住用不動産が株式保有に及ぼす影響」、『経済研究』Vol. 66, No. 3, pp. 242–264、2015年7月。
- 内田浩史・宮川大介・植杉威一郎・小野有人・細野薫、「担保価値と資金制約：東日本大震災後の企業データを用いた分析」、『経済研究』Vol. 66, No. 3, pp. 224–241、2015年7月。
- Ono, Arito, Ryo Hasumi, and Hideaki Hirata, “Differentiated Use of Small Business Credit Scoring by Relationship Lenders and Transactional Lenders: Evidence from Firm-Bank Matched Data in Japan,” *Journal of Banking & Finance* 42, pp. 371–380, May 2014.
- Ono, Arito, Iichiro Uesugi, and Yukihiro Yasuda, "Are Lending Relationships Beneficial or Harmful for Public Credit Guarantees? Evidence from Japan's Emergency Credit Guarantee Program," *Journal of Financial Stability* 9(2), pp. 151–167, June 2013.
- 植杉威一郎・内田浩史・内野泰助・小野有人・間真実・細野薫・宮川大介、「大震災と企業行動のダイナミクス」、『経済研究』Vol. 64, No. 2, pp. 97–118、2013年4月。
- 内田浩史・植杉威一郎・小野有人・細野薫・宮川大介、「経済学的視点から見た二重債務問題：企業の問題を中心に」、『金融経済研究』第34号、pp. 1–27、2012年4月。
- Ono, Arito, Koji Sakai, and Iichiro Uesugi, “The Effects of Collateral on Firm Performance,” *Journal of the Japanese and International Economies* 26(1), pp. 84–109, March 2012.
- Ono, Arito, and Iichiro Uesugi, “Role of Collateral and Personal Guarantees in Relationship Lending: Evidence from Japan's SME Loan Market,” *Journal of Money, Credit, and Banking* 41(5), pp. 935–960, August 2009.

論文（査読無し）

- 小野有人、「非伝統的金融政策をめぐる論点：斉藤美彦・高橋亘『危機対応と出口への模索 — イングランド銀行の戦略』によせて」、『大阪経大論集』（大阪経済大学）第73巻第2号、pp. 175–189、2022年7月。
- 羽田尚子・小野有人、「イノベーションに有効な組織マネジメント：プロジェクト管理方法・企業文化の観点から」、『企業研究』（中央大学企業研究所）第39号、pp. 117–141、2021年8月。
- 小野有人、「東日本大震災における被災企業の資金調達と二重債務問題」、『金融構造研究』第

- 37号、pp. 13-22、2015年5月.
- Ono, Arito, and Iichiro Uesugi, "SME Financing in Japan during the Global Financial Crisis: Evidence from Firm Surveys," *International Review of Entrepreneurship* 12(4), pp. 191-218, 2014 (invited article).
- 植杉威一郎・内田浩史・小野有人・細野薫・宮川大介、「東日本大震災と企業の二重債務問題」、『金融経済研究』特別号（東日本大震災復興の金融問題）、pp. 17-36、2014年1月（招待論文）。
- 小野有人、「不動産担保貸出におけるLTV規制は有効か：不動産登記データに基づく実証分析」、『みずほ総研論集』（みずほ総合研究所）2013年II号、pp. 1-22、2013年6月。
- 小野有人・小野裕士・山村晋介、「わが国金融機関における預金の低収益性：低金利局面における普遍的な現象か」、『みずほ総研論集』（みずほ総合研究所）2012年I号、pp. 75-98、2012年6月。
- 小野有人、「中小企業向け貸出をめぐる実証研究：現状と展望」、『金融研究』（日本銀行金融研究所）第30巻第3号、pp. 95-143、2011年8月。
- 小野有人、「中小企業金融における担保・保証の役割」、『金融構造研究』第32号、pp. 1-10、2010年5月。
- 小野有人、「金融規制とプロシクリカリティ：G20における金融規制改革論の現状と今後の課題」、『みずほ総研論集』（みずほ総合研究所）2009年IV号、pp. 29-70、2009年12月。
- 小野有人・西川珠子・前川亜由美、「米国における活発な再チャレンジは資金調達環境が原因か：破綻を経験した米国中小企業の資金調達に関する実証分析」、『みずほ総研論集』（みずほ総合研究所）2008年III号、pp. 107-144、2008年8月。
- 太田智之・小野有人・野田彰彦、「中堅・中小企業向けトランザクション型貸出の決定要因：企業属性に応じた適性に関する一考察」、『みずほ総研論集』（みずほ総合研究所）2007年IV号、pp. 95-129、2007年10月。
- Noda, Akihiko, Tomoyuki Ohta, and Arito Ono, "Determinants of Transaction-based Lending to SMEs in Japan: Borrower Characteristics Evidence from the MHRI Survey," *Mizuho Research Paper* Vol. 14, July 2007.
- 小野有人、「少子高齢化が資産価格に及ぼす影響：資産市場のメルトダウン仮説をめぐって」、『みずほ総研論集』（みずほ総合研究所）2007年II号、pp. 75-98、2007年5月。
- 小野有人・植杉威一郎、「リレーションシップ貸出における担保・保証の役割：中小企業庁『金融環境実態調査』に基づく実証分析」、『みずほ総研論集』（みずほ総合研究所）2006年I号、pp. 47-87、2006年1月。
- Ono, Arito, "The Current Status of Small Business Credit Scoring in Japan: Based upon survey evidence on its use by Japanese banks," *Mizuho Research Paper* Vol. 6, August 2005.
- 小野有人、「アジア域内における最後の貸し手の意義と課題：国際金融機関による政策競争の観点から」、『証券経済学会年報』第40号、pp. 105-109、2005年7月。
- 小野有人、「アジア域内における最後の貸し手の意義と課題：国際金融機関による政策競争の観点から」、『経済研究所年報』（成城大学）第18号、pp. 5-18、2005年4月。

- 益田安良・小野有人、「クレジット・スコアリングの現状と定着に向けた課題：邦銀アンケート調査と米国での経験を踏まえて」、『みずほ総研論集』（みずほ総合研究所）2005年Ⅰ号、pp. 63-103、2005年4月。
- 小野有人・西川珠子、「米国におけるリレーションシップバンキング：担保・保証の役割を中心に」、『みずほ総研論集』（みずほ総合研究所）2004年Ⅲ号、pp. 95-135、2004年10月。
- 小野有人、「アジア域内における『最後の貸し手』の意義と課題：国際金融機関による政策競争の観点から」、『みずほ総研論集』（みずほ総合研究所）2004年Ⅰ号、pp. 63-98、2004年4月。
- 小野有人・長谷川克之・澤田真理子、「わが国シンジケート・ローン市場の現状と発展に向けた課題」、『調査季報』（国民公庫総研）、pp. 30-44、2003年8月。
- 小野有人、「預金金利自由化がわが国金融機関に及ぼした影響：価格競争 vs. 非価格競争」、『武蔵大学論集』（武蔵大学）第50巻第3号、pp. 183-208、2003年2月。
- Ono, Arito, “A Cure Worse than the Disease? Involving the Private Sector in Emerging Market Crises,” *Fuji Research Paper* Vol. 24, July 2002.
- 小野有人、「国際金融危機における『民間セクター関与』：国際金融システム安定化のジレンマ」、『富士総研論集』（富士総合研究所）2002年Ⅱ号、pp. 2-40、2002年4月。
- 小野有人、「銀行業と商業の分離を見直すべきか」、『富士総研論集』（富士総合研究所）2001年Ⅲ号、pp. 2-36、2001年7月。
- 小野有人、「わが国金融機関の預貸金利鞘：低スプレッドの背景とその対応策」、『富士総研論集』（富士総合研究所）1997年Ⅳ号、pp. 1-30、1997年10月。
- 鈴木健彦・小野有人、「商取引と決済の電子化：フィナンシャル EDI・電子小口決済手段の将来」、『富士総研論集』（富士総合研究所）1996年Ⅲ号、pp. 56-95、1996年7月。
- 小野有人、「「貸し渋り」論をどう受けとめるか」、『富士総研論集』（富士総合研究所）1996年Ⅰ号、pp. 31-55、1996年1月。

書籍の部分執筆

- 小野有人、「日本の銀行業の変貌：所得データに基づく分析」、祝迫得夫編著『日本の金融システム：ポスト世界金融危機の新しい挑戦とリスク』第3章、pp. 89-114、東京大学出版会、2023年9月。
- 細野薫・植杉威一郎・内田浩史・小野有人・宮川大介、「都市間交通インフラと企業間取引・企業パフォーマンス：東日本大震災による高速道路途絶の影響」、柳川範之編著『インフラを科学する：波及効果のエビデンス』第3章、pp. 57-80、中央経済社、2018年12月。
- 内田浩史・植杉威一郎・小野有人・細野薫・宮川大介、「被災地企業の資金調達」、東北大学大学院経済学研究科地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究Ⅴ 震災復興は東北をどう変えたか』第2章、pp. 22-42、南北社、2016年3月。
- Ono, Arito, Hirofumi Uchida, Souichirou Kozuka, and Makoto Hazama, “A New Look at Bank-Firm Relationships and the Use of Collateral in Japan: Evidence from Teikoku Databank Data,” in Watanabe, Tsutomu, Iichiro Uesugi, and Arito Ono (Eds.), *The Economics of Interfirm Networks*,

Advances in Japanese Business and Economics Vol. 4, pp. 191–214, Tokyo: Springer, 2015.

- 内田浩史・植杉威一郎・小野有人・細野薫・宮川大介、「大震災と企業行動・企業金融」、齊藤誠編『震災と経済』（大震災に学ぶ社会科学 第4巻）第6章、pp. 173–216、東洋経済新報社、2015年5月。
- 内田浩史・植杉威一郎・小野有人・細野薫・宮川大介、「被災地企業の資金調達」、東北大学大学院経済学研究科地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究Ⅳ 新しいフェーズを迎える東北復興への提言』第2章、pp. 22–42、南北社、2015年3月。
- みずほ総合研究所、『経済がわかる 論点50 2015』、東洋経済新報社、2014年11月（第5章「47 ベンチャービジネス」、pp. 210–213を執筆）。
- みずほ総合研究所編著、『ポスト金融危機の銀行経営：「精査」と「組み合わせ」による勝ち組戦略』、金融財政事情研究会、2014年6月（編集、第1章「信用膨張・金融危機・現在」、pp. 1–37を執筆）。
- 内田浩史・植杉威一郎・小野有人・細野薫・宮川大介、「被災地企業の資金調達」、東北大学大学院経済学研究科地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究Ⅲ 震災復興政策の検証と新産業創出への提言』第2章、pp. 33–51、河北新報出版センター、2014年3月。
- 内田浩史・植杉威一郎・小野有人・細野薫・宮川大介、「被災地企業の資金調達」、東北大学大学院経済学研究科地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究Ⅱ 東北地域の産業・社会の復興と再生への提言』第2章、pp. 36–53、河北新報出版センター、2013年3月。
- 小野有人、「アメリカ・モデルの金融」、渋谷博史編『アメリカ・モデルとグローバル化—Ⅰ：自由と競争と社会的階級』第2章、pp. 99–144、昭和堂、2010年2月。
- みずほ総合研究所、『迷走するグローバルマネーとSWF：国際金融危機の深層』、東洋経済新報社、2008年12月（第11章「日本はSWFを創設すべきか」、pp. 219–256を執筆）。
- 小野有人、「担保や保証人に依存した貸し出しはやめるべきか」、渡辺努・植杉威一郎編著『検証 中小企業金融：「根拠なき通説」の実証分析』第5章、pp. 137–167、日本経済新聞社、2008年9月。
- みずほ総合研究所、『BRICs～持続的成長の可能性と課題』、東洋経済新報社、2006年11月（第3章4節「高まるBRICsの影響力：国際金融」、pp. 158–172、第4章「BRICsの潜在成長力と長期予測」、pp. 173–191を執筆）。
- みずほ総合研究所、『ベーシック アメリカ経済』、日経文庫ベーシック、2005年6月（第V章「アメリカの金融システム」1～4節、pp. 131–148を執筆）。
- みずほ総合研究所、『日本経済の進路—構造改革後の見取り図と政策の役割』、中央公論新社、2004年3月（第二部第一節「日本経済が直面する三つの課題」、pp. 72–83、第二部第二節二項「サプライサイド強化策のもとで進展する企業収益の二極化」、pp. 94–107（山本均と共同）、第三部第一節「経済政策の意義と役割」、pp. 122–128、第三部第二節一項「「保険」としてのマクロ経済政策」、pp. 129–137、第三部第四節一項「事業再生に向けた政府の役割は何か」、pp. 183–197（深澤映司と共同）を執筆）。

- 小野有人、「ソブリン債務再編問題：新興市場国危機に対するセーフティネットはどうあるべきか」、国宗浩三・久保公二編『金融グローバル化と途上国』第11章、pp. 285-311、アジア経済研究所研究双書、2004年1月。
- 公文敬監修・みずほ総合研究所著、『徹底予測 2004—キーワードで読む日本の経済と社会』、東洋経済新報社、2003年11月（第4章「41. 一步下がって二歩進む：政府系金融機関の見直し」、pp. 124-125を執筆）。
- みずほ総合研究所、『日本経済の進路 2003年版』、中央公論新社、2002年12月（第二部第一〇節「貸出金利引き上げの背景と日本経済へのインパクト」、pp. 204-211を執筆）。
- みずほ総合研究所編著、『3時間で分かる日本経済』、日本経済新聞社（日経ビジネス人文庫）、2002年11月（第2章4節「不良債権—経済低迷の原因か、結果か」、pp. 75-82、第2章5節「金融機関の再編—低収益性の改善が最優先課題」、pp. 82-89を執筆）。
- 富士総合研究所、『2002年日本経済の進路』、中央公論新社、2001年11月（第二部第七節「金融システムの問題点と改革の展望」、pp. 218-229を執筆）。
- 伊藤忠明監修・富士総合研究所著、『入門の金融 金利の仕組み』、日本実業出版社、1997年8月（第2章「8. 民間金融機関の金利」、pp. 34-35、第3章「14. 金利が決まるメカニズム」、pp. 50-52、第3章「18. 民間金融機関の金利の決め方」、pp. 62-65、第7章「40. 預金金利自由化とは」、p. 138-139、第7章「41. 預金金利自由化と民間金融機関」、pp. 140-143、第7章「42. 預金金利自由化後の預金金利・貸出金利」、pp. 144-147を執筆）。
- 富士総合研究所、『1997年日本経済の進路』、読売新聞社、1996年11月（第三部「日本経済を読み解く 20のキーポイント」のうち「電子マネーは普及するか」、pp. 262-267を執筆）。
- 富士総合研究所、『図説 金融と経済の実際知識』、東洋経済新報社、1995年3月（第1章第4節「日本経済の発展と金融」、pp. 31-36を執筆）。

未定稿論文・Working Paper

- Honda, Tomohito, Kaoru Hosono, Daisuke Miyakawa, Arito Ono, Ichiro Uesugi, “Imperfect Take-up of COVID-19 Business Support Programs,” RIETI Discussion Paper Series 24-E-001, January 2024.
- Honda, Tomohito, Arito Ono, Ichiro Uesugi, and Yukihiro Yasuda, “Anatomy of Out-of-court Debt Workouts for SMEs,” RIETI Discussion Paper Series 23-E-088, December 2023.
- Gunji, Hiroshi, Arito Ono, Masato Shizume, Hirofumi Uchida, and Yukihiro Yasuda, “Unit Cost of Financial Intermediation in Japan, 1954–2020,” RIETI Discussion Paper Series 23-E-076, October 2023. (※日本語ディスカッション・ペーパーに修正を加えた上で英語にしたもの: 郡司大志・小野有人・鎮目雅人・内田浩史・安田行宏、「日本の金融仲介コストの長期推計」、RIETI Discussion Paper Series 21-J-048、2021年9月.)
- Haneda, Shoko, Koki Kurihara, and Arito Ono, “The Effect of Staged Project Management on Product Innovation: Evidence from a Firm Survey,” NISTEP Discussion Paper No. 209, June 2022.
- 植杉威一郎・小野有人・本田朋史・荒木祥太・内田浩史・小野塚祐紀・川口大司・鶴田大輔・深沼光・細野薫・宮川大介・安田行宏・家森信善、「新型コロナウイルス感染症下における企業実態調査の概要」、RIETI Discussion Paper Series 21-J-029、2021年6月。

- 小野有人・羽田尚子・池田雄哉・乾友彦、「日本企業の研究開発マネジメントとイノベーションの現状－「研究開発マネジメントに関する実態調査」結果概要－」、科学技術・学術政策研究所 Discussion Paper No.189、2020年9月。
- Honjo, Yuji, Arito Ono, and Daisuke Tsuruta, “The Effect of Physical Collateral and Personal Guarantees on Business Start-ups,” RIETI Discussion Paper Series 19-E-087, October 2019.
- Hosono, Kaoru, Daisuke Miyakawa, Arito Ono, Hirofumi Uchida, and Iichiro Uesugi, “Damage to the Transportation Infrastructure and Disruption of Inter-firm Transactional Relationships,” RIETI Discussion Paper Series 19-E-043, June 2019.
- Uesugi, Iichiro, Kaoru Hosono, Daisuke Miyakawa, Arito Ono, Hirofumi Uchida, "Reallocation of Tangible Assets and Productivity," Hitotsubashi University Real Estate Markets, Financial Crisis, and Economic Growth: An Integrated Economic Approach Working Paper Series No. 80, March 2018.
- Uesugi, Iichiro, Daisuke Miyakawa, Kaoru Hosono, Arito Ono, and Hirofumi Uchida, "The Collateral Channel versus the Bank Lending Channel: Evidence from a Massive Earthquake," Hitotsubashi University Real Estate Markets, Financial Crisis, and Economic Growth: An Integrated Economic Approach Working Paper Series No. 79, March 2018.
- 祝迫得夫・植杉威一郎・小野有人・清水千弘・直井道生・堀雅博、「家計の住宅投資、貯蓄、金融資産選択：2017年「日本家計パネル調査」の結果概要」、Hitotsubashi University Real Estate Markets, Financial Crisis, and Economic Growth: An Integrated Economic Approach Working Paper Series No. 78, March 2018.
- Ono, Arito, Katsushi Suzuki, and Iichiro Uesugi, “When Japanese banks become pure creditors: Effects of declining shareholding by banks on bank lending and firms' risk-taking,” Hitotsubashi University Real Estate Markets, Financial Crisis, and Economic Growth: An Integrated Economic Approach Working Paper Series No. 76, March 2018.
- Ono, Arito, Kosuke Aoki, Shinichi Nishioka, Kohei Shintani, and Yosuke Yasui, “Long-term interest rates and bank loan supply: Evidence from firm-bank loan-level data,” TCER Working Paper E-119, February 2018.
- Ono, Arito, and Yukihiro Yasuda, “Forgiveness versus financing: The determinants and impact of SME debt forbearance in Japan,” RIETI Discussion Paper Series 17-E-086, May 2017.
- Iwaisako, Tokuo, Arito Ono, Amane Saito, and Hidenobu Tokuda, “Impact of population aging on household savings and portfolio choice in Japan,” Hitotsubashi University Real Estate Markets, Financial Crisis, and Economic Growth: An Integrated Economic Approach Working Paper Series No. 61, September 2016.
- 植杉威一郎・深沼光・小野有人・胥鵬・鶴田大輔・根本忠宣・宮川大介・安田行宏・家森信善・渡部和孝・岩木宏道、「金融円滑化法終了後における金融実態調査結果の概要」、RIETI Discussion Paper Series 15-J-028, 2015年6月。
- Uchida, Hirofumi, Daisuke Miyakawa, Kaoru Hosono, Arito Ono, Taisuke Uchino, and Iichiro Uesugi, "Natural Disaster and Natural Selection," RIETI Discussion Paper Series 14-E-055, September 2014.

- Ono, Arito, Daisuke Miyakawa, Kaoru Hosono, Taisuke Uchino, Hirofumi Uchida, and Ichiro Uesugi, "Transaction Partners and Firm Relocation Choice: Evidence form the Tohoku Earthquake," RIETI Discussion Paper Series 14-E-054, September 2014.
- Miyakawa, Daisuke, Kaoru Hosono, Taisuke Uchino, Arito Ono, Hirofumi Uchida, and Ichiro Uesugi, "Financial Shocks and Firm Exports: A natural experiment approach with a massive earthquake," RIETI Discussion Paper 14-E-010, February 2014.
- 植杉威一郎・内田浩史・小野有人・小塚荘一郎・鶴田大輔・君和田貴也、「貸金業法改正後における企業の資金調達実態調査の概要」、一橋大学 Design of Interfirm Network Working Paper Series No. 14, 2011 年 12 月.
- 植杉威一郎・内田浩史・小倉義明・小野有人・胥鵬・鶴田大輔・根本忠宣・平田英明・安田行宏・家森信善・渡部和孝・布袋正樹、「金融危機下における中小企業金融の現状『企業・金融機関との取引実態調査（2008 年 2 月実施）』、『金融危機下における企業・金融機関との取引実態調査（2009 年 2 月実施）』の結果概要」、RIETI Discussion Paper Series 09-J-020, 2009 年 7 月.
- Ono, Arito, "The Role of Credit Scoring in Small Business Lending," Paper presented at the ADBI Institute Training Seminar "Financial Information Infrastructure and SME Finance," May 2006.
- Ono, Arito, "On the Role of a Regional Lender of Last Resort," IDE-JETRO APEC Working Paper, March 2004.
- 小野有人、「わが国金融機関の低スプレッド：1990 年代後半における利ざや設定行動の検証」、みずほレポート、2003 年 2 月 17 日.
- Ono, Arito, "The Political Economy of Branching Restrictions: Menu Auction Approach," 日本金融学会春季大会発表論文、2001 年 5 月.
- 小野有人、「欧米における金融再編の動向：わが国金融機関へのインプリケーションを探る」、富士総合研究所・調査研究資料、1996 年 9 月.
- 小野有人、「財政金融政策と経常収支：マンデル＝フレミング・モデルの現実への適用をめぐる一考察」、富士総合研究所・調査研究資料、1995 年 3 月.
- 小野有人、「わが国製造業の設備投資変動：ストック調整原理を中心に考える」、富士総合研究所・調査研究資料、1994 年 9 月.
- 深澤映司・小野有人、「内需拡大の貿易収支調整効果」、富士総合研究所・調査研究資料、1992 年 10 月.

(c) 新聞・雑誌等

- 小野有人、「銀行業の所得構造の変化」、『商工金融』2024 年 2 月号、pp. 4-20.
- 小野有人、「地域金融機関の今後⑤：創業期企業の資金対応 焦点」、『日本経済新聞』（経済教室）、2023 年 7 月 19 日、p. 25.
- 小野有人・内田浩史・グレゴリー・F. ユーデル・植杉威一郎、「企業向け貸出のプロシクリカリティとマクロプルーデンス政策」、『住宅土地経済』第 128 号、2023 年 4 月、pp. 20-27.
- 小野有人、「キャッシュレス化が金融機関に及ぼす影響：決済サービス「ことら」のインパクト

- ト)、『月刊金融ジャーナル』2023年2月号、pp. 18–21.
- 小野有人、「書評：粕谷誠著『戦前日本のユニバーサルバンク—財閥系銀行と金融市場』、『経済研究』第73巻第1号、2022年1月、pp. 84–87.
- 祝迫得夫・小野有人・齋藤周・徳田秀信、「家計の居住用不動産が株式保有に及ぼす影響」、『住宅土地経済』第122号、2021年10月、pp. 19–27.
- 小野有人、「地銀経営の論点⑩：経営統合の質低下の懸念も」、『日本経済新聞』（経済教室）、2020年12月2日、p. 32.
- 小野有人、「巻頭言：地域金融機関の収益力低下にどう向き合うべきか」、『銀行実務』2020年2月号、p. 7.
- 祝迫得夫・小野有人、「家計の資産形成行動に居住用不動産が及ぼす影響」、『証券アナリストジャーナル』第58巻第1号(2020年1月号)、pp. 17–29.
- 小野有人、「保証実績データを読み解く：貸し手のインセンティブ問題の検証」、『月刊金融ジャーナル』2019年5月号、pp. 74–79.
- 小野有人、「地域金融機関をめぐる経営課題」、『証券アナリストジャーナル』第57巻第2号(2019年2月号)、pp. 17–27.
- 小野有人、「第4章 キャッシュレス化が銀行業に及ぼす影響」、金融調査研究会『キャッシュレス社会の進展と金融制度のあり方』、2018年7月、pp. 83–94.
- 小野有人、「止まらぬ銀行の収益力低下：過度な預金流入の抑制を」、『日本経済新聞』（経済教室）、2018年6月27日、p. 26.
- 内田浩史・宮川大介・植杉威一郎・小野有人・細野薫、「担保価値と資金制約：東日本大震災後の企業データを用いた分析」、『住宅土地経済』第107号、2018年1月、pp. 16–25.
- 小野有人、「地域金融機関が生き残るビジネスモデルとは：①伝統的業務の収益力改善に向けた課題」、『銀行実務』2017年8月号、pp. 20–23.
- 小野有人、「大企業取引：クロスセル戦略の精査が必要」、『月刊金融ジャーナル』2016年1月号、pp. 72–73.
- 小野有人、「「銀行勘定の金利リスク管理モデル—修正期間収益アプローチと経済価値アプローチの比較—」に対するコメント」、『FSA リサーチレビュー』（金融庁金融研究センター）第9号、2015年10月、pp. 47–48.
- 小野有人、「小額投資は創業を活性化させるか：クラウドファンディングの意義と課題」、『みずほインサイト』（みずほ総合研究所）2014年10月7日.
- 小野有人、「GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）」、『みずほリサーチ』（みずほ総合研究所）2014年8月号、p. 13.
- 内田浩史・小野有人・宮川大介、「二重債務問題の実態」、『月刊金融ジャーナル』2014年3月号、pp. 8–13.
- 小野有人、「中小企業向け貸出における個人保証見直しの影響」、『月刊金融ジャーナル』2013年10月号、pp. 12–15.
- 小野有人、「中小企業の成長に向けた金融戦略：エクイティ性資金をめぐる期待と課題」、『みずほインサイト』（みずほ総合研究所）2013年3月13日.

- 小野有人・小野裕士・山村晋介、「預金の低収益性は邦銀固有の現象か」、『週刊金融財政事情』
2012年7月30日・8月6日合併号、pp. 52-55.
- 小野有人、「地域金融におけるメインバンクの役割が変わる?」、『週刊金融財政事情』2012年
7月16日号、pp. 16-18.
- 吉野直行監修、山田能伸・小野有人・大垣尚司著、「金融審議会「我が国金融業の中長期的な在
り方」WGバックグラウンド・ペーパー・シリーズ」、2012年3月.
- 小野有人、「中小企業金融円滑化法の功罪」、『月刊金融ジャーナル』2012年3月号、pp. 54-58
- 小野有人、「金融ジャーナルと私」、『月刊金融ジャーナル』2011年1月号、p. 24.
- 小野有人、「書評：金融危機のミクロ経済分析」、『週刊金融財政事情』2010年4月26日号、p.
56.
- 小野有人、「金融危機下の中小企業金融の現状と課題」、『月刊金融ジャーナル』2010年2月号、
pp. 8-13.
- 小野有人、「地域金融機関における与信管理面の課題」、『リージョナルバンキング』2010年2
月号、pp. 20-26.
- 小野有人、「IMF改革をめぐる焦点は何か：ロンドン G20 金融サミットを踏まえて」、『国際金
融』1200号（2009年5月1日）、pp. 38-46.
- 小野有人、「IMF」、『みずほリサーチ』（みずほ総合研究所）2009年1月号、p. 13.
- 小野有人、「中小企業向けスコアリング貸出の現状と展望」、『月刊金融ジャーナル』2008年9
月号、pp. 58-62.
- 小野有人、「中小企業金融における資本性資金の意義と課題」、『ターンアラウンドマネージャ
ー』2008年6月号.
- 小野有人、「政府系投資ファンドのインパクト」、『月刊公明』2008年6月号、pp. 54-60.
- 小野有人、「挑戦支援資本強化特例制度」、『みずほリサーチ』（みずほ総合研究所）2008年6月
号、p. 13.
- 小野有人、「信用保証制度改革の現状と今後の課題」、『近代セールス』2008年4月15日号、pp.
23-27.
- 小野有人、「金融機関は ABL をどう位置づけるべきか」、『近代セールス』2008年2月1日号、
pp. 12-16.
- 小野有人、「データで見る東京市場の競争力」、『月刊金融ジャーナル』2008年1月号、pp. 29-
34
- 小野有人、「貸出手法の観点からみた中小企業金融の現状と展望」、『月刊金融ジャーナル』2007
年11月号、pp. 10-13.
- 小野有人・野田彰彦、「多様化が進む中堅・中小企業の資金調達」、『週刊金融財政事情』2007年
2月19日号、pp. 38-42.
- 小野有人、「多様化が進む企業の資金調達」、『みずほリサーチ』（みずほ総合研究所）2007年2
月号、pp. 7-9.
- 小野有人、「見直しが進む中小企業向け信用保証制度」、『みずほリサーチ』（みずほ総合研究所）
2006年6月号、pp. 7-9.

- 小野有人、「信用保証制度改革のインパクト：資金調達環境の急激な悪化はない」、『週刊金融財政事情』2006年5月15日号、pp. 16-21.
- 小野有人、「BRICsがグローバル・インバランスに及ぼすインパクト：外貨準備増大を通じた資本輸出の持続可能性を探る」、『国際金融』1158号（2006年1月1日）、pp. 36-42.
- 小野有人、「通貨バスケット制」、『みずほリサーチ』（みずほ総合研究所）2005年10月号、p. 13.
- 小野有人、「リレバン推進で融資による借り手の規律づけ強化を」、『週刊金融財政事情』2005年9月5日号、pp. 32-35.
- 小野有人、「スコアリング融資の定着へ米銀の経験から何を学ぶか?」、『近代セールス』2005年9月1日号、pp. 17-21.
- 益田安良・小野有人、「全国銀行のクレジット・スコアリング活用状況と今後の課題」、『金融』2005年6月号、pp. 2-9.
- 小野有人、「米国におけるリレーションシップバンキング：担保・保証の役割を中心に」、『税経通信』、pp. 11-16、2005年3月号.
- 小野有人、「リレーションシップバンキング強化：担保・保証に積極的役割」、『日本経済新聞』経済教室、2005年1月19日.
- 小野有人、「クレジットスコアリング有効活用への課題」、『月刊金融ジャーナル』2005年1月号、pp. 32-35.
- 小野有人、「わが国シンジケート・ローン市場の現状と発展に向けた課題」、『リージョナルバンキング』2004年11月号、pp. 21-28.
- 小野有人・西川珠子、「米国におけるリレーションシップバンキング：担保・保証の役割を中心に」、『国際金融』1133号（2004年10月1日）、pp. 42-47
- 益田安良・小野有人、「クレジットスコアリング活用の現状と今後の課題」、『週刊金融財政事情』2004年9月27日号、pp. 28-33.
- 小野有人、「アジアにおける通貨安定化策の模索：域内独自の「最後の貸し手」の意義と課題」、『アジア研ワールドトレンド』第107号（2004年8月）、pp. 44-45.
- 小野有人、「PAYGO原則」、『みずほリサーチ』（みずほ総合研究所）2004年8月号、p. 13.
- 小野有人、「リレーションシップバンキングにおける担保・保証の役割」、『月刊金融ジャーナル』2004年6月号、pp. 106-110.
- 小野有人、「IMF 競合機関、アジアに」、『日経金融新聞』月曜ゼミナール、2004年4月5日.
- 小野有人、「エコノミストが選ぶ 2003年の経済書：金融システムの機能不全は資金量の問題か」、『週刊エコノミスト』2003年12月16日号、p. 44.
- 小野有人、「中堅・中小企業による私募社債発行の現状と今後の課題」、『信用保険月報』2003年11月号、pp. 11-21.
- 小野有人、「拡大を続けるわが国シンジケート・ローン市場」、『みずほリサーチ』（みずほ総合研究所）2003年8月号、pp. 8-9.
- 小野有人、「米CRAにみる「リレーションシップバンキング」強化策の功罪」、『みずほ欧米リサーチ』（みずほ総合研究所）2003年4月14日号.
- 小野有人、「新しい国家債務再編メカニズム」、『みずほリサーチ』（みずほ総合研究所）2003年

- 2月号、pp. 8-9.
- 小野有人、「ソブリン債務再編問題をめぐる論点整理と評価」、『国際金融』1095号（2002年11月15日）、pp. 18-23.
- 小野有人、「わが国シンジケートローン市場の現状と拡大に向けた課題」、『月刊金融ジャーナル』2002年6月号、pp. 44-50.
- 小野有人・野田彰彦、「「市場型間接金融」の現状と展望：会員企業アンケートから」、『週刊金融財政事情』2002年5月20日号、pp. 28-33.
- 小野有人、「IMF：急浮上する「国家破産制度」論」、『アジア研ワールドトレンド』第78号（2002年3月）、pp. 32-33.
- 小野有人、「国際金融危機における「民間セクター関与」」、『国際金融』1074号（2001年11月1日）、pp. 22-27.
- 小野有人、「急拡大するわが国シンジケートローン市場」、『富士タイムズ』（富士総合研究所）2001年9月号、pp. 10-11.
- 小野有人、「ワンウェイ規制を見直し、銀商相互参入を認めるべし：銀行による株式保有メリットにも注目せよ」、『週刊金融財政事情』2001年8月6日号、pp. 44-47.
- 小野有人、「銀行業と商業の分離を見直すべきか」、『国際金融』1068号（2001年7月1日）、pp. 10-16.
- 小野有人、「新BIS規制案の意義と課題」、『富士タイムズ』（富士総合研究所）2001年4月号、pp. 10-11.
- 小野有人、「ビッグバンにより個人金融資産はどう変わったか」、『富士タイムズ』（富士総合研究所）2001年1月号、pp. 18-19.
- 小野有人、「ROE向上のために預貸金利ザヤの改善が不可欠：貸出・銀行市場の供給過剰の是正が求められる」、『週刊金融財政事情』1997年7月7日号、pp. 42-45.
- 小野有人、「家計から金融機関への所得移転は生じていない：金融緩和の金融機関への影響は中立的」、『週刊金融財政事情』1997年2月17日号、pp. 36-39.
- 小野有人、「特化する米国、フルラインの欧州、模索する日本」、『週刊エコノミスト』1997年6月24日号、pp. 39-42.
- 小野有人、「フィナンシャル EDI の現状と今後の行方」、『ESTRELA』No. 36（1997年3月）、pp. 22-28.
- 小野有人、「近年の欧米商業銀行経営の変化：国際比較の観点から」、『週刊金融財政事情』1996年10月14日号、pp. 20-23.
- 小野有人、「欧米の商銀経営の変化」、『日経金融新聞』水曜ゼミナール、1996年10月2日.
- 小野有人、「決済サービスのエレクトロニクス化」、『富士タイムズ』（富士総合研究所）1996年10月号、pp. 8-12.
- 小野有人、「「貸し渋り」論をどう受けとめるか」、『月刊金融ジャーナル』1996年1月号、pp. 79-83.
- 小野有人、「「貸し渋り」論をめぐる誤解」、『日経金融新聞』金曜ゼミナール、1995年9月29日.

小野有人、「逆輸入により急増する輸入数量」、『富士タイムズ』（富士総合研究所）1994年10月号、pp. 2-5.

小野有人、「揃いつつある景気回復の条件」、『富士タイムズ』（富士総合研究所）1994年5月号、pp. 2-5.

小野有人、「⑨鉱工業生産指数、⑩在庫循環」、『週刊ダイヤモンド』1994年4月23日号、p. 37.

小野有人、「今回の景気後退期の特徴：回復に向けてのリード役が不在」、『富士タイムズ』（富士総合研究所）1993年12月号、pp. 2-4.

小野有人、「回復が緩慢な設備投資」、『富士タイムズ』（富士総合研究所）1993年9月号、pp. 2-4

小野有人、「一段と激化する日米通商摩擦」、『富士タイムズ』（富士総合研究所）1993年4月号、pp. 2-4.

小野有人、「伸び悩む個人消費」、『富士タイムズ』（富士総合研究所）1992年5月号、pp. 2-4.

(d) ウェブ媒体

小野有人、「銀行と中小企業の取引において地理的近接性はいぜん重要か?」、『ChuoOnline』、2023年10月26日.

<https://yab.yomiuri.co.jp/adv/chuo/research/20231026.php>

※英訳版： Ono, Arito, “Does geographical proximity still matter in small business lending?” ChuoOnline, 07 November 2023.

https://yab.yomiuri.co.jp/adv/chuo/dy/research/20231107_en.php

小野有人、「銀行貸出における需給の識別：近年の研究動向」、『ChuoOnline』、2015年9月17日.

<http://www.yomiuri.co.jp/adv/chuo/research/20150917.html>

※英訳版： Ono, Arito, “Disentangling loan demand and loan supply shocks: Review on recent literature,” ChuoOnline, 1 October 2015.

<https://yab.yomiuri.co.jp/adv/chuo/dy/research/20151001.html>

Uchida, Hirofumi, and Arito Ono, “Natural disasters, natural selection, and firm exit: Lessons from the Tohoku earthquake,” VOX Column, 11 February 2015.

<http://www.voxeu.org/article/disasters-and-firm-exit-lessons-tohoku-earthquake>

小野有人、「ポスト金融円滑化法をめぐる3つの『壁』」、『エコノミスト Eyes』（みずほ総合研究所）2013年4月8日.

<https://www.mizuho-rt.co.jp/publication/mhri/opinion/eyes/pdf/eyes130408.pdf>

小野有人、「二重ローン問題『貸すも親切、貸さぬも親切』」、『私論試論』（みずほ総合研究所）2011年11月22日.

[https://www.mizuho-](https://www.mizuho-rt.co.jp/publication/mhri/opinion/shiron/pdf/shiron111122.pdf)

[rt.co.jp/publication/mhri/opinion/shiron/pdf/shiron111122.pdf](https://www.mizuho-rt.co.jp/publication/mhri/opinion/shiron/pdf/shiron111122.pdf)

小野有人、「アルゼンチン危機の『教訓』：エマージング諸国における為替相場選択をめぐって」、

『日本国の研究 不安との訣別／再生のカルテ』第182号（2002年6月12日）.
<http://www.inose.gr.jp/news/post2047/>

(e) 学位論文

The Political Economy of Branching Restriction in Japan, Ph.D. dissertation in the Department of Economics at Brown University, May, 2001.

B. 研究活動

(a) 学会・コンファレンス

招待報告

日本金融学会、名古屋大学、2013年9月（“Trading Partners and Firm Location Choice: Evidence from the Great East-Japan Earthquake,” coauthored with Daisuke Miyakawa, Kaoru Hosono, Hirofumi Uchida, Taisuke Uchino, and Ichiro Uesugi, 震災復興金融パネル『震災時の中小企業金融』招待報告）

日本金融学会、中央大学、2010年5月（「金融規制・監督の変化と企業金融」、共通論題パネル『世界危機後の企業金融の変貌』招待報告）

International Conference on Financing of SMEs in Developed Countries, Warwick Business School, April 2006 (Keynote Presentation “Development of SME Financing in Japan”)

Public Policy Pre-conference on Global Perspectives on Entrepreneurship, International Council for Small Business Annual Meeting, Crystal Gateway Marriott, Arlington, June 2005 (“Development of SME Financing in Japan,” invited presentation for the session “Banking Deregulation, Banking Restructuring, and Small Business Lending: An International Comparison”)

一般報告

EEA 2023 Congress, Barcelona, August 2023 (“Long-term interest rates and bank loan supply: Evidence from firm-bank loan-level data,” coauthored with Kosuke Aoki, Shinichi Nishioka, Kohei Shintani, and Yosuke Yasui)

AFS 2023 Conference, Building Resilience in Emerging Markets: The Role of Corporate Governance and Sustainability, ESCA Ecole de Management, Casablanca, July 2023 (“When banks become pure creditors: Effects of declining shareholding by Japanese banks on bank lending and firms' risk-taking,” coauthored with Katsushi Suzuki and Ichiro Uesugi)

地域金融コンファレンス、中央大学(オンライン開催)、2022年8月（“The Effect of Staged Project Management on Product Innovation: Evidence from a Firm Survey,” coauthored with Shoko Haneda and Koki Kurihara)

TCER コンファレンス「日本の金融システム：現状、課題、展望」、一橋大学、2022年7月（「日本の銀行業の変貌：所得データに基づく分析」）

日本経済学会、九州大学（オンライン開催）、2020年5月（“The Effect of Physical Collateral and Personal Guarantees on Business Start-ups,” coauthored with Yuji Honjo and Daisuke Tsuruta)

The 1st CUHK-RCFS Conference on Corporate Finance and Financial Intermediation, Chinese University of Hong Kong, June 2019 (“When banks become pure creditors: Effects of declining shareholding by Japanese banks on bank lending and firms' risk-taking,” coauthored with Katsushi Suzuki and Iichiro Uesugi)

Japan Economic Seminar, Columbia Business School, March 2019 (“Forgiveness versus Financing: The Determinants and Impact of SME Debt Forbearance in Japan,” coauthored with Daisuke Miyakawa, Kazuhiko Ohashi, and Yukihiro Yasuda)

日本金融学会、名古屋市立大学、2018年10月 (“Disentangling the Effect of Home Ownership on Household Stock-holdings: Evidence from Japanese micro data,” coauthored with Tokuo Iwaisako, Amane Saito, and Hidenobu Tokuda)

日本経済学会、学習院大学、2018年9月 (“Disentangling the Effect of Home Ownership on Household Stock-holdings: Evidence from Japanese micro data,” coauthored with Tokuo Iwaisako, Amane Saito, and Hidenobu Tokuda)

The 30th Asian FA Annual Meeting, Hitotsubashi Hall, June 2018 (“Forgiveness versus Financing: The Determinants and Impact of SME Debt Forbearance in Japan,” coauthored with Yukihiro Yasuda)

Hitotsubashi International Workshop on Real Estate and the Macro Economy, Hitotsubashi Hall, March 2018 (“Housing, Saving, and Portfolio Choice: Evidence from the 2017 Japan Household Panel Survey,” coauthored with Masahiro Hori, Tokuo Iwaisako, Michio Naoi, and Chihiro Shimizu)

Midwest Finance Association 67th Annual Meeting, Hilton Palacio del Rio, San Antonio, March 2018 (“When Japanese banks become pure creditors: Effects of declining shareholding by banks on bank lending and firms' risk taking,” coauthored with Katsushi Suzuki and Iichiro Uesugi)

2nd Household Finance Conference, Hitotsubashi University, January 2018 (“Disentangling the Effect of Housing on Household Stock Holdings: Evidence from Japanese micro data,” coauthored with Tokuo Iwaisako, Amane Saito, and Hidenobu Tokuda)

Hitotsubashi-RIETI International Workshop on Real Estate and the Macro Economy, Research Institute of Economy, Trade and Industry, December 2017 (“Disentangling the Effect of Housing on Household Stock Holdings: Evidence from Japanese micro data,” coauthored with Tokuo Iwaisako, Amane Saito, and Hidenobu Tokuda)

日本金融学会、鹿児島大学、2017年9月 (“When Japanese banks become pure creditors: Effects of declining shareholding by banks on bank lending and firms' risk taking,” coauthored with Katsushi Suzuki and Iichiro Uesugi)

日本経済学会、青山学院大学、2017年9月 (“When Japanese banks become pure creditors: Effects of declining shareholding by banks on bank lending and firms' risk taking,” coauthored with Katsushi Suzuki and Iichiro Uesugi)

地域金融コンファレンス、釧路公立大学、2017年8月 (“Forgiveness versus Financing: The Determinants and Impact of SME Debt Forbearance in Japan,” coauthored with Yukihiro Yasuda)

Summer Workshop on Economic Theory, 北海道大学、2017年8月 (“Forgiveness versus Financing: The Determinants and Impact of SME Debt Forbearance in Japan,” coauthored with Yukihiro

Yasuda)

Darla Moore School of Business - Hitotsubashi University Second International Conference on Corporate Finance: Governments, Corporate Governance and Corporate Policies, Hitotsubashi University, August 2017 (“Forgiveness versus Financing: The Determinants and Impact of SME Debt Forbearance in Japan,” coauthored with Yukihiro Yasuda)

The 18th Macroeconomics Conference, co-sponsored by The Tokyo Center for Economic Research (TCER), The Institute of Social and Economic Research of Osaka University, Faculty of Economics - Keio University, Center for Advanced Research in Finance - University of Tokyo, Research Center for Economic and Social Risks - Hitotsubashi University, Hotel Hankyu Expo Park, Osaka, November 2016 (“Long-term Interest Rates and Bank Loan Supply: Evidence from Firm-Bank Loan-Level Data,” coauthored with Kosuke Aoki, Shinichi Nishioka, Kohei Shintani, and Yosuke Yasui)

地域金融コンファレンス、愛媛大学、2016年9月 (“Why Do Banks Hold Equity? Evidence from the Japan’s Regulatory Change on Banks’ Equity Holdings,” coauthored with Katsushi Suzuki and Ichiro Uesugi)

ESRI/NBER International Conference 2016 “Aging in Japan: The Impact of the Retirement of Japan’s Baby Boomers,” Asian Development Bank Institute, July 2016 (“Impact of Aging Population on Household Savings and Portfolio in Japan,” coauthored with Tokuo Iwaisako, Amane Saito, and Hidenobu Tokuda)

5th MoFiR Workshop on Banking, Driehaus College of Business, DePaul University, June 2016 (“Long-term Interest Rates and Bank Loan Supply: Evidence from Firm-Bank Loan-Level Data,” coauthored with Kosuke Aoki, Shinichi Nishioka, Kohei Shintani, and Yosuke Yasui)

ABFER 4th Annual Conference, The Shangri-La Hotel Singapore, May 2016 (“Long-term Interest Rates and Bank Loan Supply: Evidence from Firm-Bank Loan-Level Data,” coauthored with Kosuke Aoki, Shinichi Nishioka, Kohei Shintani, and Yosuke Yasui)

NBER Japan Project Meeting, Asian Development Bank Institute, July 2015 (“Transaction Partners and Firm Relocation Choice: Evidence from the Tohoku Earthquake,” coauthored with Daisuke Miyakawa, Kaoru Hosono, Hirofumi Uchida, Taisuke Uchino, and Ichiro Uesugi)

Hitotsubashi-RIETI International Workshop on Real Estate Market and the Macro Economy, 経済産業研究所、2014年12月 (“Residential Property and Household Stock Holdings: Evidence from Japanese micro data,” coauthored with Tokuo Iwaisako, Amane Saito, and Hidenobu Tokuda)

日本経済学会、西南学院大学、2014年10月 (“Transaction Partners and Firm Location Choice: Evidence from the Great East Japan Earthquake,” coauthored with Daisuke Miyakawa, Kaoru Hosono, Taisuke Uchino, Hirofumi Uchida, and Ichiro Uesugi)

地域金融コンファレンス、早稲田大学、2014年8月 (“Does Geographical Proximity Matter in Small Business Lending? Evidence from the Switching of Main Bank Relationships,” coauthored with Yukiko Saito, Koji Sakai, and Ichiro Uesugi)

Concluding Conference of the Macro-prudential Research (MaRs) Network of the European System of

Central Banks, June 2014 (“Lending Pro-Cyclicality and Macro-Prudential Policy: Evidence from Japanese LTV Ratios,” coauthored with Hirofumi Uchida, Gregory Udell, and Iichiro Uesugi)

東日本大震災学術調査・マクロ経済班ミニコンファレンス、一橋大学、2014年3月 (“Transaction Partners and Firm Location Choice: Evidence from the Great East-Japan Earthquake,” coauthored with Daisuke Miyakawa, Kaoru Hosono, Hirofumi Uchida, Taisuke Uchino, and Iichiro Uesugi)

The 15th Macroeconomics Conference, co-sponsored by UTokyo Price Project - Grant for Prominent Graduate Schools under the Program "Human Behavior and Socioeconomic Dynamics", Graduate School of Economics and Institute of Social and Economic Research, Osaka University - Research Center for Price Dynamics, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University - Tokyo Center for Economic Research (TCER), University of Tokyo, December 2013 (“Lending Pro-Cyclicality and Macro-Prudential Policy: Evidence from Japanese LTV Ratios,” coauthored with Hirofumi Uchida, Gregory Udell, and Iichiro Uesugi)

日本経済学会、神奈川大学、2013年9月 (“Does Geographical Proximity or Relational Proximity Matter in Small Business Lending? Evidence from the Borrower-Lender Distance in Japan, 2000-2010,” coauthored with Yukiko Saito, Koji Sakai, and Iichiro Uesugi)

Small business financing, European Central Bank, Kelley School of Business - Indiana University, Center for Economic Policy Research, and Review of Finance, December 2012 (“Differentiated Use of Small Business Credit Scoring by Relationship Lenders and Transactional Lenders: Evidence from firm-bank matched data in Japan,” coauthored with Ryo Hasumi and Hideaki Hirata)

地域金融コンファレンス、中央大学、2012年9月 (「預金の低収益性は邦銀固有の現象か」、小野裕士・山村晋介との共著)

Summer Workshop on Economic Theory, 小樽商科大学、2011年8月 (“Differentiated Use of Small Business Credit Scoring by Relationship Lenders and Transactional Lenders: Evidence from firm-bank matched data in Japan,” coauthored with Ryo Hasumi and Hideaki Hirata)

一橋大学産業・金融ネットワーク研究センター・経済産業研究所共催ワークショップ、2011年3月 (「日本における企業－銀行間関係と担保利用の現状：TDB データベースの概観」、内田浩文・小塚荘一郎・間真実・植杉威一郎との共著)

日本金融学会、神戸大学、2010年9月 (“Why Does Relationship Lenders Use Small Business Credit Scoring? Evidence from firm-banked matched data in Japan,” coauthored with Ryo Hasumi and Hideaki Hirata)

経済産業研究所国際ワークショップ、2009年10月 (“Does Distance Matter in Loan Availability and Prices? Evidence from Japan’s SME Loan Market,” coauthored with Yukiko Saito, Koji Sakai, and Iichiro Uesugi)

日本金融学会、広島大学、2008年10月 (“The Effects of Collateral on SME Performance in Japan,” coauthored with Koji Sakai and Iichiro Uesugi)

日本経済学会、近畿大学、2008年9月 (“The Effects of Collateral on SME Performance in Japan,” coauthored with Koji Sakai and Iichiro Uesugi)

地域金融コンファレンス、名古屋大学、2008年8月 (「米国における活発な再チャレンジは

- 資金調達環境が原因か：破綻を経験した米国中小企業の資金調達に関する実証分析」、西川珠子・前川亜由美との共著)
- 日本金融学会、成城大学、2008年5月（「中堅・中小企業向けトランザクション型貸出の決定要因：企業属性に応じた適性に関する一考察」、太田智之・野田彰彦との共著)
- 地域金融コンファレンス、大阪大学、2008年3月（“The Effects of Collateral on Small Firm Performance in Japan,” coauthored with Koji Sakai and Iichiro Uesugi)
- The 9th Macroeconomics Conference, Keio University, December 2007 (“The Role of Collateral and Personal Guarantees in Relationship Lending: Evidence from Japan's Small Business Loan Market,” coauthored with Iichiro Uesugi)
- The Changing Geography of Banking, University of Ancona co-sponsored by the Italian Ministry of Education, University and Research, The Bank of Italy, The Italian Banking Association, Banca Popolare di Ancona, and the Review of Finance, Italy, September 2006 (“The Role of Collateral and Personal Guarantees in Relationship Lending: Evidence from Japan's Small Business Loan Market,” coauthored with Iichiro Uesugi)
- 日本経済学会、福島大学、2006年6月（“The Role of Collateral and Personal Guarantees in Relationship Lending: Evidence from Japan's Small Business Loan Market,” coauthored with Iichiro Uesugi)
- 日本金融学会、早稲田大学、2006年4月（“The Role of Collateral and Personal Guarantees in Relationship Lending: Evidence from Japan's Small Business Loan Market, coauthored with Iichiro Uesugi)
- International Conference on Financing of SMEs in Developed Countries, Warwick Business School, United Kingdom, April 2006 (“The Role of Collateral and Personal Guarantees in Relationship Lending: Evidence from Japan's Small Business Loan Market,” coauthored with Iichiro Uesugi)
- 経済産業研究所政策シンポジウム『日本の金融～企業と金融機関の関係を問い直す』、2006年2月（「日本の中小企業金融における担保・保証の決定要因」、植杉威一郎との共著)
- 日本金融学会、日本大学、2005年5月（「リレーションシップバンキングにおける担保・保証の役割：1998 Survey of Small Business Finances を素材として」、西川珠子との共著)
- 証券経済学会、埼玉大学、2004年6月（「アジア域内における『最後の貸し手』機能の意義と課題：国際金融機関による政策競争の観点から」)
- 日本金融学会、滋賀大学、2003年10月（「わが国金融機関の低スプレッド：1990年代後半における利ざや設定行動の検証」)
- 日本金融学会、横浜市立大学、2002年5月（「国際金融危機における『民間セクター関与』：国際金融システム安定化のジレンマ」)
- 日本金融学会、慶応大学、2001年5月（“The Political Economy of Branching Restrictions: Menu Auction Approach”)

討論者

- 5th Conference on Contemporary Issues in Banking, University of St Andrews, December 2023 (Barbara Casu, Laura Chiaramonte, Doriana Cucinell, “Bank lending, liquidity regulation and unconventional

- monetary policies in the Eurozone.”)
- AFS 2023 Conference, Building Resilience in Emerging Markets: The Role of Corporate Governance and Sustainability, ESCA Ecole de Management, Casablanca, July 2023 (Boubakri, Narjess, Jocelyn Grira, and Chiraz Labidi, “State Capitalism and Political Uncertainty in Banking: Empirical Evidence from Sovereign Wealth Funds.”)
- Conference on Innovation & Productivity in the aftermath of the pandemic, Tokyo (Online), November 2022 (E. Dabla-Norris, T. Kinda, K. Chahande, H. Chai, Y. Chen, A. de Stefani, Y. Kido, F. Qi, and A. Sollaci, “Accelerating Innovation and Digitalization in Asia to Boost Productivity.”)
- 2022 FMA Annual Meeting, Atlanta, October 2022 (Nam H. Nguyen, Hieu V. Phan, and Judy Tran, “Shareholder-Creditor Conflict of Interest and Corporate Cash Policy.”)
- The 29th NBER-TCER-CEPR (TRIO) Conference, Tokyo (Online), March 2022 (Bighelli, Tommaso, Tibor Lalinsky, and Juuso Vanhala, “Covid-19 pandemic, state aid and firm productivity.”)
- 日本ファイナンス学会、神戸大学（オンライン開催）、2021年11月（中岡孝剛・庄司豊・吉原清嗣「銀行業における私益性と地域公益性の評価：我が国地域銀行のデータを用いた記述統計分析」）
- 日本経済学会、大阪大学、2021年10月(Timothy E. Dore, Tetsuji Okazaki, Ken Onishi, and Naoki Wakamori “Firm Growth, Financial Constraints, and Policy-based Finance.”)
- 日本金融学会、岡山商科大学（オンライン開催）、2020年10月(Islam, Kachkach, “Lending Terms and Bank Capital.”)
- The 21st Macroeconomics Conference, Hotel Hankyu Expo Park, Osaka, November 2019 (Inoue, Hitoshi, Kiyotaka Nakashima, and Koji Takahashi, “Credit Allocation and Real Effects of Negative Interest Rates: Micro-Evidence from Japan.”)
- 地域金融コンファレンス、長野県立大学、2019年8月 (Naiki, Eriko and Yuta Ogane, “Effects of Bank Soundness on Lending Relationships Promotion Activities.”)
- 法と経済学会、駒澤大学、2019年7月（座主祥伸「担保登録と外部ファイナンス」）
- ESRI International Conference for International Collaboration Projects 2017/2018, “Empirical Analysis on Issues toward Strengthening Japan’s Potential Growth and Revitalizing the Economy” WG2 (Revitalizing the economy: structural challenges facing Japanese firms and households), Cabinet Office, October 2018 (Miyakawa, Daisuke, Kaoru Hosono, and Miho Takizawa, “Cash Holdings: Evidence from Firm-level Big Data in Japan.”)
- 日本金融学会、名古屋市立大学、2018年10月(Naiki, Eriko and Yuta Ogane, “Bank Characteristics and Bank Lending to New Firms.”)
- 日本経済学会、学習院大学、2018年9月（郡司大志・三浦一輝・袁媛「日本銀行のETF購入が企業業績に与える影響」）
- 地域金融コンファレンス、三島信用金庫本部、2018年8月 (Tang, Xiuwei and Hirofumi Uchida, “Differences in the Usage of Credit Guarantees Across Banks.”)
- The 30th Asian FA Annual Meeting, Hitotsubashi Hall, June 2018 (Dou, Yiwei, and Zhaoxia Xu, “Off-Balance Sheet Securitization, Bank Lending, and Corporate Innovation”)

- 日本ファイナンス学会、一橋大学一橋講堂、2018年6月 (Cui, Weihang, “Is Debt Conservatism the Solution to Financial Constraints? An Empirical Analysis of Japanese Firms”)
- 日本経済学会、兵庫県立大学、2018年6月 (Takaoka, Sumiko, and Koji Takahashi, “Differential effects of unconventional monetary policy on Japanese syndicated loan contracts”)
- 日本大学経済科学研究所ワークショップ：経済分析による政策評価、日本大学、2018年3月 (Hosono, Kaoru, Masaki Hotei and Daisuke Miyakawa, “Tax avoidance by capital reduction: Evidence from corporate tax reform in Japan”)
- Midwest Finance Association 67th Annual Meeting, Hilton Palacio del Rio, San Antonio, March 2018 (Frame, W. Scott, and Eva Steiner, “Unconventional Monetary Policy and Risk-Taking: Evidence from Agency Mortgage REITs”)
- Tokyo Workshop on Entrepreneurship and Innovation, Chuo University, March 2017 (Honjo, Yuji and Kazuo Yamada, “Does the group-affiliation influence debt financing of newly established companies?”)
- 日本経済学会、早稲田大学、2016年9月 (Tomura, Hajime, “Money Supply and Credit in a Cashless Economy”)
- 地域金融コンファレンス、関西外国語大学、2015年8月 (Inoue, Hitoshi, Kiyotaka Nakashima, and Koji Takahashi, “Unviable Relationship and Bank Lending: Evidence from Loan-level Matched Data.”)
- 4th MoFiR Workshop on Banking, Kobe University, June 2015 (Calomiris, Charles W., Mauricio Larrain, José Liberti, and Jason Sturgess, “How collateral laws shape lending and sectoral activity”)
- 日本金融学会、東京経済大学、2015年5月 (Ogane, Yuta, “The number of bank relationships and small business bankruptcies”)
- 日本金融学会、慶應義塾大学、2014年5月 (近藤隆則「公的信用保証制度の長期的効果についての実証研究」)
- 日本金融学会、名古屋大学、2013年9月 (劉亜静「リレーションシップバンキングと中小企業融資の活性化：日本と中国の比較研究」)
- 地域金融コンファレンス、神戸大学、2013年9月 (福澤恵二「日本の金融システムの現状と課題」)
- The 14th Macroeconomics Conference, TCER - Osaka University – University of Tokyo – Hitotsubashi University, December 2012 (Watanabe, Wako, and Brahim Guizani, “Public capital, the deposit insurance and the risk-shifting incentives: evidence from the regulatory responses to the financial crisis in Japan”)
- 日本金融学会、北九州市立大学、2012年9月 (震災復興パネル「災復興に向けた金融・財政面ならびに制度面における課題」)
- 地域金融コンファレンス、中央大学、2012年9月 (鯉渕賢「ユーロ危機の金融危機の側面についての実証研究」)
- Group of 15 Experts Plenary Meeting, A3 Triangle Initiative on Monetary and Financial Cooperation for Korea, China and Japan, hosted by the Chinese Academy of Social Sciences, the North East Asia

- Research Foundation, and the Research Institute of Economy, Trade and Industry, May 2012 (He, Fan, “ABMI and Capital & Financial regulations”)
- 地域金融コンファレンス、神戸大学、2011年9月（郡司大志・三浦一輝「地銀・信金・信組の競争度」）
- Group of 15 Experts Plenary Meeting, A3 Triangle Initiative on Monetary and Financial Cooperation for Korea, China and Japan, hosted by the Chinese Academy of Social Sciences, the North East Asia Research Foundation, and the Research Institute of Economy, Trade and Industry, June 2011 (Kim, Jung Sik and John Junggun Oh, “Regional Capital Market Development”)
- 地域金融コンファレンス、信州大学、2010年8月（秋吉史夫・広瀬純夫「私的整理による企業再建の効率性に関する検証：債権放棄事例を対象とした実証分析」）
- 地域金融コンファレンス、大阪大学、2009年8月（Nemoto, Tadanobu, Yoshiaki Ogura, and Wako Watanabe, “An Estimation of the Inside Bank Premium”）
- 日本金融学会、成城大学、2008年5月（蓮見亮・平田英明「クレジット・スコアリングは万能か？」）
- 地域金融コンファレンス、大阪大学、2008年3月（Uchida, Hirofumi, Gregory Udell, and Wako Watanabe, “Are Trade Creditors Relationship Lenders?”）
- 日本経済学会、大阪市立大学、2006年10月（Uchida, Hirofumi, Gregory Udell, and Nobuyoshi Yamori, “Loan Officers and Relationship Lending”）
- 日本金融学会、小樽商科大学、2006年9月（Uchida, Hirofumi, Gregory Udell, and Nobuyoshi Yamori, “SME financing and the choice of lending technology”）
- RIETI International Workshop on the Reform of Corporate Governance, Corporate Rehabilitations in East Asia and its Lessons for China, November 2005 (Kang, Dongsoo, “Distress of SMEs and Role of Credit Guarantee Scheme in Restructuring: Case of Korea”)
- 日本金融学会、滋賀大学、2003年10月（岩崎敬介「量的緩和政策と不良債権問題、構造問題」）
- プログラム委員、オーガナイザー等
- 日本金融学会 2020年度秋季大会、岡山県立大学（オンライン開催）、2020年10月、プログラム委員、共通論題「大規模災害と経済」座長
- 日本ファイナンス学会 2020年度大会、東京都立大学（オンライン開催）、2020年6月、プログラム委員
- 日本金融学会 2020年度春季大会、中央大学（新型コロナウイルスの感染拡大により通常開催せず）、2020年5月、プログラム委員
- RIETI 政策セミナー「新たな成長に向けたアントレプレナーシップ・イノベーション・ファイナンスの融合」、経済産業研究所、2019年9月、パネルディスカッション・モデレータ
- 日本ファイナンス学会 2019年度大会、慶応大学、2019年6月、プログラム委員、セッション・チェアー「Capital Markets 1」
- 日本金融学会 2019年度春季大会、学習院大学、2019年5月、プログラム委員、セッション・チェアー「金融仲介」
- The International Banking, Economics, and Finance Association Meeting at the Western Economic

Association International Conference, Tokyo, March 2019, Program Committee
Midwest Finance Association 2019 Annual Meeting, Chicago, March 2019, Program Committee
日本経済学会 2018 年度秋季大会、学習院大学、2018 年 9 月、プログラム委員
The 30th Asian Finance Association Conference 2018, Tokyo, June 2018, Review Committee
Midwest Finance Association 2018 Annual Meeting, San Antonio, March 2018, Program Committee
The 29th Asian Finance Association Conference 2017, Seoul, July 2017, Review Committee
日本金融学会 2017 年度春季大会、早稲田大学、2017 年 5 月、プログラム委員
Midwest Finance Association 2017 Annual Meeting, Chicago, March 2017, Program Committee
日本金融学会 2013 年度春季大会、一橋大学、2013 年 5 月、プログラム委員、セッション・チェア
「金融規制・金融契約」
HIT-TDB-RIETI 国際ワークショップ「企業間ネットワークに関する経済分析」、2012 年 11 月、
オーガナイザー、セッション・チェア
東京大学社会科学研究所コンファレンス「Welfare State and Market Logic」、2002 年 5 月、
セッション・チェア

(b) 一般向け講演等

日本銀行金融機構局「日本銀行『金融システムレポート』2021 年 10 月号へのコメント」、2021
年 11 月 22 日
日本銀行金融機構局「日本銀行『金融システムレポート』2020 年 10 月号へのコメント」、2020
年 12 月 21 日
日本経済調査協議会「中小企業金融をめぐる論点」、2020 年 7 月 29 日
金融構造研究会「金融マクロ統計をめぐる問題提起」、2019 年 12 月 26 日
T20 Summit 2019, “Panel discussion: Digital innovation can improve financial access for SMEs,” 27
May 2019, Moderator
日本経済調査協議会「地域金融をめぐる課題」、2019 年 3 月 1 日
シティグループ証券ストラテジーランチセミナー「銀行の持ち合い解消と貸出行動」、2019 年
2 月 25 日
日本政策金融公庫勉強会「中小企業金融の現状と課題」、2018 年 10 月 31 日
地方銀行協会地方銀行研修所新任支店長講座「地域金融機関をめぐる環境変化と経営課題」、
2018 年 6 月 11 日
茅ヶ崎北陵高等学校「大学で学ぶ金融論」、2017 年 10 月 5 日
みずほエグゼクティブシンジケート・ローンセミナー「金融政策と銀行貸出」、2016 年 11 月 9
日
中央大学経理研究所 A & B フォーラム「中小企業金融の現状と課題」、2016 年 7 月 13 日
みずほ証券セミナー「長期金利変動と銀行の貸出行動」、2016 年 7 月 5 日
中央大学付属高等学校「ステップ講座：大学で学ぶ金融論」、2015 年 11 月 25 日
野村総合研究所・国内金融の活性化に向けた研究会「米国の中小企業金融の特徴」、2015 年 10
月 15 日

FSA リサーチレビュー編集委員会「コメント：岩熊淳太・枇々木則雄「銀行勘定の金利リスク管理モデル－修正期間収益アプローチと経済価値アプローチの比較」、2015年8月19日
国立国会図書館政策セミナー「コメント：吉鶴祐亮「中小企業金融円滑化法終了後の地域密着型金融」、2015年3月19日
国立国会図書館説明聴取会「中小企業金融円滑化法終了後の中小企業金融の現状と今後の課題」、2015年1月30日
みずほファイナンスセミナー「日本の金融・為替自由化の歴史」、2014年11月4日
地方銀行協会金融構造研究会セミナー「東日本大震災における被災企業の資金調達と二重債務問題」、2014年9月5日
みずほ総研コンファレンス『ポスト金融危機の金融規制と銀行経営』、2014年5月30日（モデレーター）
成蹊大学企業プロジェクト演習「日本における政策提言型シンクタンクの可能性」、2014年4月7日
みずほファイナンスセミナー「日本の金融・為替自由化の歴史」、2013年10月29日
日本経済研究センター勉強会「中小企業金融の現状と今後の課題」、2013年1月29日
金融庁官民ラウンドテーブル「企業向け金融サービス（ローカルな展開）に関するビジョン」、2012年9月25日
財務省財務総合政策研究所ランチセミナー「中小企業金融の現状と今後の課題」、2011年12月1日
金融庁金融審議会・我が国金融業の中長期的な在り方に関するワーキング・グループ「中小企業向け貸出の経済分析：理論と現実」、2011年10月14日
政策研究大学院大学講義“Development of SME Financing in Japan,” 2011年6月17日
名古屋市立大学主催公開シンポジウム「名古屋企業の再生と成長戦略を考える」パネリスト、2010年11月27日
第二地方銀行協会セミナー「中小企業金融の現状と課題」、2010年6月10日
地方銀行協会金融構造研究会セミナー「中小企業金融における担保・保証の役割」、2009年4月
21世紀中小企業振興ネット講演会「格差・分配政策における真の問題点は何か」、2008年10月16日
CRD協会セミナー「中小企業金融における担保・保証の役割」、2008年5月12日
公共政策プラットフォームセミナー「中小企業金融の現状と展望」、2007年10月17日
金融ファクシミリ新聞社セミナー「中小企業向け貸出の現状と展望」、2007年8月23日
早稲田大学日本橋ファイナンス・フォーラム「新時代の中小企業金融－貸出手法の再構築に向けて」、2007年5月23日
千葉県税理士協会木更津支部講演「中小企業金融の現状と課題」、2006年12月19日
国民生活金融公庫講演「米国におけるリレーションシップバンキング：担保・保証の役割を中心に」、2006年12月5日
21世紀中小企業振興ネット講演会「中小企業金融の国際比較：ウォーリック大国際コンファレ

ンスの概要と論点」、2006年5月24日
地方銀行協会・中堅行員海外研修会講演「米国におけるリレーションシップバンキングの現状と展望」、2005年10月6日
第二地方銀行協会・新業務対応ワーキング・グループ講演「リレーションシップバンキングにおける担保・保証の役割」、2005年5月26日
第二地方銀行協会・金融ビジネス研究講座「わが国シンジケート・ローン市場の現状と発展に向けた課題」、2004年7月22日
成城大学経済研究所講演会「アジア域内における最後の貸し手の意義と課題」、2004年6月26日
財務省・JCIF債務問題研究会「ソブリン債務再編問題について」、2002年12月6日
金融庁コングロマリット研究会「金融統合をめぐる論点：『G10報告書』を素材として」、2002年11月20日
金融ファクシミリ新聞セミナー「『市場型間接金融』の現状と展望」、2002年8月23日（野田彰彦との共同講演）

(c) セミナー・研究会での論文発表、討論（2002年以降）

2023年：Bank of England（7月）、University of St. Andrews（9月）、University of Naples Federico II（11月）
2022年：TCER（1月）、中央大学企業研究所（1月）、中小企業金融研究会（3月）、経済産業研究所（6月）、日本証券経済研究所（6月）
2021年：住宅経済研究会（5月）、経済産業研究所（6月）、University of St. Andrews（12月）
2019年：International Monetary Fund（3月）、経済産業研究所（4月）、一橋大学（12月）
2018年：経済産業研究所（1月）、日本政策投資銀行設備投資研究所（8月）、経済産業研究所（11月）
2017年：経済産業研究所（2月）、みずほ総合研究所（6月）
2016年：経済産業研究所（4月）、日本政策投資銀行設備投資研究所（4月）、経済産業研究所（12月）
2015年：統計研究会（1月）、金融庁金融研究センター（4月）、中央大学企業研究所（5月）、一橋大学（10月）
2014年：経済産業研究所（4月、6月）、慶應大学（7月）
2013年：日本銀行金融機構局（1月）、経済産業研究所・一橋大学（3月）、経済産業研究所・日本政策金融公庫（3月）、中央大学（6月）、ISFJ日本学生会議（11月）、経済産業研究所（12月）
2012年：慶應大学（1月）、アジア経済研究所（2月）、東京大学（5月）
2011年：日本政策投資銀行設備投資研究所（2月）、経済産業研究所（8月）日本銀行金融研究所（12月）
2010年：日本銀行金融研究所（6月、12月）、International Monetary Fund（7月）、U.S. Small Business Administration, Office of Advocacy（7月）、経済産業研究所（11月）

2009年：日本銀行金融研究所（2月）、中央大学（4月）、早稲田大学（9月）、
2008年：経済産業研究所（5月、8月、10月、12月）、中央大学（10月）
2007年：経済産業研究所（1月、3月）、中央大学（2月、10月、11月）、中央大学企業研究所
研究会（10月）
2006年：信金中金総合研究所（7月）
2005年：中央大学（3月、10月）、経済産業研究所（5月、9月、11月）
2004年：中央大学（6月）、経済産業研究所（7月、10月）
2003年：東京大学社会科学研究所（4月）、一橋大学経済研究所（9月）、アジア経済研究所（11
月）、中央大学（12月）
2002年：中央大学（2月）、アジア経済研究所（10月）

(d) 研究助成

日本学術振興会・科学研究費基金（基盤研究B）「日本の金融仲介機能の長期分析：金融仲介コ
スト・流動性創出機能の観点から」、No. 20H01517、研究代表者、2020年度～現在
日本学術振興会・科学研究費基金（基盤研究B）「主観的認識が家計の金融経済行動に与える影
響とその経済学的含意」、No. 18H00871、研究分担者、2018年度～2021年度
日本学術振興会・科学研究費基金（基盤研究C）「制度変化が企業金融・企業行動に及ぼす影響
に関する実証分析」、No. 17K03812、研究代表者、2017年度～2020年度
日本学術振興会・科学研究費補助金（基盤研究S）「不動産市場・金融危機・経済成長：経済学
からの統合アプローチ」、No. 25220502、研究協力者、2013～2017年度
日本学術振興会・科学研究費補助金（研究活動スタート支援）「銀行による株式保有の決定要
因および企業パフォーマンスへの影響に関する実証分析」、No. 15H06619、研究代表者、
2015～2016年度
一橋大学経済研究所・帝国データバンク「持続的成長を可能にする産業・金融ネットワークの
設計」（文部科学省・近未来の課題解決を目指した実証的的社会科学研究推進事業）、2008年
10月～2013年3月

(e) レフェリー

International Review of Economics and Finance, International Review of Finance, International Review
of Financial Analysis, Japan and the World Economy, Japanese Economic Review, Journal of Asian
Economics, Journal of Banking & Finance, Journal of Empirical Finance, Journal of Financial Stability,
Journal of the Japanese and International Economies, Journal of Money, Credit, and Banking, 企業研
究、金融経済研究、経済研究、経済分析、日本経済研究

C. 所属学会、役職

日本経済学会、日本金融学会、日本ファイナンス学会、American Economic Association、American
Finance Association、European Economic Association、European Finance Association

- 日本金融学会、中央銀行部会幹事、2023年4月～現在

D. 外部委員など

東京大学金融教育研究センター (CARF) 「金融システム安定政策研究会」、2022 年 4 月～現在
東京経済研究センター (TCER) (フェロー)、2016 年 4 月～現在

The Money and Finance Research (Mo.Fi.R.) group, 2014–present

経済産業研究所、「企業金融・企業行動ダイナミクス研究会」(旧:「効率的な企業金融・企業間ネットワークのあり方を考える研究会」、「金融・産業ネットワーク研究会」、「金融・産業構造研究会」、「企業金融研究会」)、2004 年 4 月～現在

日本経済調査協議会「中小企業研究委員会」、2018 年 12 月～2022 年 7 月

科学技術・学術政策研究所 (客員研究官)、2019 年 10 月～2022 年 3 月

全国銀行協会「金融調査研究会」、2017 年 4 月～2018 年 3 月

野村総合研究所「国内金融の活性化に向けた研究会」、2015 年 2 月～2016 年 12 月

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「地方創生に関する金融有識者連絡会」、2015 年 3 月～2015 年 12 月

日本銀行調査統計局 (アドバイザー)、2015 年 1 月～2015 年 12 月

金融庁金融審議会「決済業務等の高度化に関するスタディ・グループ」、2014 年 10 月～2015 年 7 月

法政大学比較経済研究所 (兼任研究員)、2013 年 4 月～2015 年 3 月

金融庁金融審議会「金融システムの安定に資する銀行規制等のあり方に関するワーキング・グループ」、2012 年 5 月～2013 年 2 月

金融庁金融審議会「我が国金融業の中長期的な在り方に関するワーキング・グループ」、2011 年 4 月～2012 年 5 月

Group of 15 Experts on A3 (China, Japan, and Korea) Triangle Initiative on Monetary and Financial Cooperation, Chinese Academy of Social Science, Research Institute of Economy, Trade & Industry, and East Asian Monetary Institute, June 2011 – May 2012

日本経済調査協議会「吉國委員会 (SWF の役割と政策的インプリケーション)」、2008 年 6 月～2009 年 10 月

金融庁金融研究研修センター「金融コングロマリット研究会」、2003 年 10 月～2004 年 3 月

アジア経済研究所「東アジア地域協力の現状と展望—『ASEAN+3』枠組みの活用に向けて」、2003 年 5 月～2004 年 3 月

アジア経済研究所「開発途上国経済システムの中における金融」、2001 年 5 月～2003 年 3 月

E. 受賞

平成 21 年度中小企業研究奨励賞・経済部門本賞 (共著『検証 中小企業金融』に対して)、商工総合研究所、2010 年 2 月

平成 19 年度中小企業研究奨励賞・経済部門本賞 (著書『新時代の中小企業金融』に対して)、商工総合研究所、2008 年 2 月